



子ども心理学科「卒業生を囲む会」～特集号～ 平成29年7月6日実施

◇参加くださった卒業生（写真右から）◇



☺ 岩堀 仁美さん（幼稚園教諭）

☺ 脇田 綾奈さん（保育士 伊豆長岡学園＜児童養護施設＞）

☺ 池谷 奈菜さん（保育士 あい保育園古庄）

3名の卒業生においでいただきました。就職活動のことや、就職後のこと、学生生活においてのことなど、貴重なお話を伺いました。以下は、その抜粋です。

- ・ 保育士は、コミュニケーション能力と言葉遣いが大切だと実感。子ども達は保育者の言葉を一語一句真似してしまう。よい言葉も悪い言葉も家に戻って使ってしまう。先輩や目上の人との会話で敬語が使えるように身に付けておかないと、失敗する。
- ・ 責任感や余裕をもって保育に当たるためには、準備や時間に余裕を持つことが必要。子どもの命を保護者から預かっている責任があるため、危険や怪我がないように常に気を付けている。
- ・ 子ども一人の人生の一部と関わっているという責任がある。その関わりで良い方にも悪い方にも傾くので、一つひとつを丁寧に考えなくてはいけないと思っている。



卒業生の皆様、貴重なお話ありがとうございました。

「卒業生を囲む会」で学んだこと ～学生より～

子ども心理学科 1年 長谷川 汐音

保育所や幼稚園、施設で実際に働いている先輩方から貴重なお話を聞かせていただきました。就職をより良いものにするために、実習も大切ですが、学生生活においても言葉遣いや人との関わり、コミュニケーション能力といった社会人としての基本的な常識やマナーを身に付けることが大切であることが分かりました。

実習と就職の大きな違いとして、子ども一人ひとりの人生の一部を預かるという責任感や他の保育者との連携が大事になってくるとおっしゃっていました。子どもを預かる責任の重みについて考えさせられました。

学生生活で感じる各施設の捉え方と就職をしてからの捉え方が違うということを知ることができました。授業や実習を通して、各施設について十分理解していけるように努力していきたいと思います。

今回、卒業生を囲む会で学んだこれらのことをこれからの学生生活に活かしていき、子どもを預かる職につく身として、子どもと向き合い多く関わりを持ち、将来子どもたちや保護者の方々に預けて良かったと思ってもらえるような保育者になりたいと強く思いました。学生生活の1日1日を大切に、保育についての学びを深められるよう努力していきます。

子ども心理学科 2年 白鳥 恵梨

今回、実際に保育の現場で働いている卒業生の方々からお話を伺い、これからの実習や自分の就職について考える機会を持つことができました。

卒業生のお話の中に「子ども一人ひとりの人生の一部分を預かるという大きな責任が伴う」とありました。学生の頃にはなかった責任感が保育士になった瞬間から課せられるのだと改めてわかり、子どもの安心安全を確保していかなければならないと思いました。子ども一人ひとりの人生の一部分を預かっているという自覚を持って、子どもとその家庭に関わっていくことが大切だと思います。

卒業生のお話の中には「仕事のやりがい」もありました。毎日泣いていた子どもが走って登園してきて「おはよう」と言ってくれたり、行事や集団行動を通して子どもが成長していったり、手遊びを何度もやると子どもが魅了されること。他にも、去年持ったクラスの子どもが挨拶してくれたり、保護者から「今日はこの先生に預けてもらえてよかった」と言われたりと、多くのやりがいがあるということ聞き、自分の中での「保育士になりたい」という気持ちがより一層強くなりました。

また、卒業生の方々の学生生活についても伺うことができました。学生時代に身に付けておくべきことでは、言葉遣いや挨拶、時間を守る、コミュニケーション能力、専門的な知識、などが挙げられていました。ほとんどが普段からやっていないと急にはできないことなので、あと1年半ある学生生活の中で身に付けていきたいと思っています。

今回、卒業生の方々がお話くださったことを自分の実習や就職活動の参考にし、繋げていきたいと思っています。



☆「AO入学選考エントリー」受付中 &「サマーSP！オープンキャンパス」開催！

企画広報室 小林昌人

みなさん、こんにちは！今年の夏は暑いですね。卒業年度の皆さんは就職活動で忙しいかと思いますが、体調をしっかりと管理して、目指す結果が出せるように頑張ってください。

さて、8月はサマーSP！オープンキャンパスを開催します。在学生、卒業生にも参加していただき、教職員が一体となって、高校生の進路選択のお手伝いを明るく、楽しく行いたいと思います。医療情報秘書科の「静岡県立病院でのオープンホスピタル見学」や、子ども心理学科の「科学館るくる」とのコラボイベント等、スペシャル企画満載で開催予定です。ぜひ皆さんの家族や後輩で福祉医療や電子情報に興味のある方がいらっしゃれば、参加を勧めてあげてください！

また、たくさんの在学生の皆さんにアシスタントをお願いしています。今回は在学生、卒業生、高校生が交流する時間もありますので、皆さんが高校生の時にどんなことを考えていたか思い出しながら、参加する高校生に温かいアドバイスや激励の言葉をかけてあげてください。皆さんもそうだったと思いますが、自分が目指している学校の先輩から声をかけてもらえることはとても嬉しいものです。ぜひ積極的に声をかけ、中村学園の面倒見の良さを高校生にも感じてもらいましょう！

最後に、オープンキャンパスでは体験授業や在学生の皆さんとの交流を通じて、少しでも職業や仕事を身近に感じ、将来の進路選択に役立てていただきたいと思います。在学生の皆さんからも何かご意見等がありましたら、どんどん企画広報室までお寄せください。皆さんとともに中村学園をますます盛り上げていきましょう！



8・9月オープンキャンパス開催日程

○サマーSP！オープンキャンパス！

“あなたに合う” がきっとある！

8月5日(土)・8月26日(土) 13:15～16:30

卒業生や企業の方々との交流を通して自分の将来を考えよう！

○何でも個別相談会

8月9日(水)・8月31日(木) 13:30～18:00

オープンキャンパスで感じた疑問をすぐに解消！聞き漏らした事を何でも個別相談！

※その他の日でも個別対応は可能です。お問い合わせください。

○通常オープンキャンパス

9月9日(土) 13:15～16:30

～学校・学科説明会、体験授業、キャンパス見学、何でも相談会等～

福祉医療「面接指導」(2MIS/3CP)を終えて

「自分の課題に取り組んだ『面接指導』」

子ども心理学科 3年 伊柳知弥

7月13日に就職のための「面接指導」を行っていただきました。この面接指導では、自分が就職したい幼稚園や施設に向けての履歴書を書き、少ない時間の中で準備を進めて、先生方の指導の下練習を行ってきました。

私は練習でも緊張してしまい、質問を受けた内容について考えようとすると頭の中が真っ白になり何も考えられず、質問に答えることが難しかったです。学科の先生方とだけでなく、クラスメイトとも何度も練習を重ね、少しずつ受け答えができるようになっていきました。

実際の「面接指導」では、先生に質問を受けた際、自分が思った以上に緊張しており、受け答えに困ってしまうこともありました。自分の面接指導は決して上手くいったとは言えませんが、答え方や、志望動機の書き方など、校長先生や先生方からご指導いただいたことは確実に自分のこれからの力になると思います。本番の面接の際にご指導を活かしていけるように頑張ります。これから保育の仕事を目指していく中で、自分の長所である優しさや笑顔を大切に希望の就職先に就職できるよう努めていきます。ご指導くださった校長先生、教頭先生、諸先生方、誠にありがとうございました。



「笑顔の大切さ」

医療情報秘書科 2年 石橋 侑莉

私が今回の「面接指導」で学んだことは、医療事務員にとって「笑顔」がとても大切だということです。これは、自分自身も前から理解はしていたものの、いざ人前に出て緊張すると無表情になっているということに改めて気付きました。今の私が病院の受付に立っていても、患者様に安心感を与えることはできないと思います。笑顔が自然と身につきるように、学校生活でのあいさつやアルバイトの時間を使って、意識していきたいと思います。そして、病院の受付に立った時、「意識した笑顔」ではなく「自然な笑顔」で患者様を迎えられるような医療事務員を目指します。

もう1つは、相手に対してしっかりと伝えることです。私のことを知らない相手に対して自分をアピールしなければいけないのに、言葉が足りないことに気が付きました。自分にとって当たり前のことだから省略するのではなく、相手に理解してもらえる文章で、分かりやすい答えを心掛けようと思いました。声の大きさについても、ハキハキと話す友達の受け答えを聞いていて、私はまだ声が小さいと思いました。これからの本番に向けて改善していきます。

緊張や不安に負けることのないよう、今回の先生方から頂いたアドバイスをもう一度整理し、自信を持って自分の強みを売り込めるようにして採用試験に臨みます。ご指導ありがとうございました。



「面接指導」では、以下のようなご指導をいただきました。

- ① 自己実現
自己実現目指している自分をアピールする。
- ② 自己分析
自分の“長所”“スキル”“環境”etc…を、それぞれまずは箇条書きにする。
- ③ 企業・施設・病院分析
自分を売り込むには、まずは相手を知らなければならない！
そのためには、自分が志望する企業・施設・病院がどんな組織なのかを調査して研究する。そして、相手のことを知ったうえで、その相手に合った自分の売り込みを考える。
- ④ ②より自己PR文を考える。
箇条書きにした自分のウリの中から、自分の希望先やアピールしたい内容に合ったものを選び、ストーリー化する。
- ⑤ 実習、インターンシップより志望動機を考える。
実習やインターンシップは、自分のウリにしたいことの裏付けになる。話すポイントを絞って、相手に何を残したいのかを考えて文章を組み立てる。
- ⑥ 「ハイ」の返事をしてから、明るく元気に快活に！
「ハイ」と返事をする事で、一呼吸おけて、自分の頭の中も整理できる。笑顔で、返事をしよう。

- ◎ 自分に自信を持て！！
- ◎ 「特に、何を相手に伝えたいか！！」
がポイント！！



初めての夏休み、自分の「成長ストーリー」を紡ぐ 進路室長 橋野 幸男

前号で紹介した日経カレッジカフェ等主催「就活生の保護者向けセミナー」(5月26日、東京)で、講師の一人、常見陽平氏(人材コンサルタント)が次のように発言しています。

— デジタル世代の学生たちは、学生生活の写真データをたくさん持っています。就活で大切な“自己分析”は、まず“自分史”を作ってみることから始まります。「写真で過去を振り返ると、新たな気づきや発見が出てきます。」—

この話から、鈴木敏恵氏が提唱する「パーソナル・ポートフォリオ」を連想しました(同氏は、シンクタンク未来教育ビジョン・代表。一級建築士。放送大学などで非常勤講師)。

それは、A4サイズのクリアポケットファイルに、入学時からのキャリア形成に関わる様々な取り組みの成果を、日付をつけ時系列で保存していくものです。学修、課外活動や学外での様々なシーンについて、例えばレポート、合格証、写真やメモなど、何でもかまいません。そして、定期的にあるいは随時、このファイルを開いて「振り返り」を行います。自分の成長を実感すると同時に、次期の取り組みを考える、また、就活準備時には「自分史」をまとめるのに活用する、というものです(なお、「e-ポートフォリオ」として、学内ネットワークで運用している学校も多くあります。一方で、鈴木氏や渡辺三枝子氏(筑波大学名誉教授)は手作り・手書きを推奨しています)。

さて、1年次の皆さんが今、ポートフォリオを制作するとしたら、手元にどんな素材があるでしょうか。「ステップアップ・レッスン」の成果物、「入学式」の写真、「御殿場宿泊研修」での決意文、「卒業生を囲む会」や「職場体験」のレポート、資格・検定試験の「合格証」、「スポーツ大会」や「ボランティア」の映像、あるいはその時々感じたことを走り書きしたメモ、など等。これら

を収納したポートフォリオをめくれば、皆さんの成長の軌跡を俯瞰することができます(鈴木氏は、これを「入れる→めくる・みる→気づく」と表現します)。

本学での初めての夏休み。各自が「自分の成長を実感しながら、目指すところへ自分の意志で向かっていける」よう(＝「なりたい自分になる」、「キャリア自律」)、「パーソナル・ポートフォリオ」でキャ

リア・ストーリーを紡ぐ準備をしましょう。そして、後期に入ったら、このポートフォリオを基に「ジョブ・カード<学卒者等用>」を記入し(「新入生オリエンテーション」で紹介しました)、更に毎期、その内容をバージョンアップしていきましょう。



夏休み中の就活イベント

8/4(金)	シズオカの会社発見! セミナー 合同会社説明会(グランシップ)	8/22(火)	マイナビ就職セミナー(グランシップ)
7(月)	シズオカの会社発見! セミナー 合同会社説明会(アクトシティ浜松)	22(火)	御殿場市合同企業ガイダンス(御殿場市民交流センター)
16(水)	福祉のミニ就職相談会(ハローワーク沼津)	22(火)	福祉のミニ就職相談会(静岡県総合福祉会館)
17(木)	マイナビ就職セミナー(アクトシティ浜松)	25(金)	静岡新聞 合同企業ガイダンス(アクトシティ浜松)
21(月)	マイナビ就職セミナー(プラザヴェルデ<沼津>)	29(火)	第1回大学正答就職フェア(キラメッセ沼津)

※その他、多数の就活イベントあり。